

## 〈12番 三宅 文雄議員〉

12番議員の三宅文雄でございます。議長選挙への立候補にあたり自らの所信の一端を述べさせていただきます。

私は平成25年に行われた市議会議員選挙において、市民の多くの方々の負託を頂き、議席をえることができました。「市民の声を市政」のスローガンを掲げ、二度の落選を経験しましたが、市政は市民のためにある。市民目線で市政は執行されなければならないという強い信念を持ち議員として10年間活動してまいりました。

平成22年に制定された井原市議会基本条例には、市民に分かりやすく「真に開かれた議会」を深く追及するという目標を掲げています。今後も、より一層の議会改革を推進し、議会の活性化を図らなければならないと考えております。

地方自治体は、直接選挙で選ばれた首長と議員で構成する議会の二元代表制で運営されています。市長部局が立案した議案を、議会は慎重に審査し、可否を決定する際には市民サイドにたった適切な判断が求められています。市政の執行に当たっては執行部と議会は常に車の両輪であり、共に力を合わせて前へ前へと進んでいかねばなりません。

人口減少が深刻な社会問題となり、地域経済の縮小が懸念されています。これからのまちづくりは、安全安心で住みよさを実感できるまちづくり、そして、ふるさと創生で活力あふれる持続可能なまちづくりを進めていく必要があります。

そこで、私は、議会としてこれらの重要課題を前向きに検討していただきたく、二つの特別委員会の設置をお願いしたいと考えています。ひとつは人口減少問題で、私が議員として活動を始めた原点はそこにあります。そしてもう一つは学校園の適正化であります。持続可能なまちづくりを進めていく上では、身の丈にあった改革を進めていく必要があります。先進地ではそれらの課題に果敢に挑戦し、成果を上げている自治体も数多くあります。

以上、議長選挙の立候補にあたり私自身の考えを述べさせていただきました。今後においても尚一層精進し、市民福祉の増進と市政の発展のために尽力したいと考えております。

議員各位のご支援ご協力を賜りますようよろしく願いをいたします。